

令和6年度

川平小中の教育

教育目標

『未来を拓く心豊かで自立した児童生徒』を育てます

教育目標の具体目標

- 自ら学ぶ子（知）
- 思いやりのある子（徳）
- たくましい子（体）

校訓
豊かな心



笑顔でチャレンジ

一生懸命がカッコイイ!!

～自分で自分をほめよう～

石垣市立川平小中学校

〒907-0453 石垣市川平969

Tel0980-88-2141 Fax0980-88-2621

E-mail : kabira-st@ishigaki.ed.jp



令和6年度 主な教育活動

特色ある川平校の教育

4月 新任式 始業式
入学式
全国学力学習状況調査
家庭訪問
春の遠足・校外学習

10月 地区駅伝大会
教育相談週間
石P連童話お話意見大会
運動会・中3学力調査
高校入試説明会

5月 地震津波避難訓練
不審者対応避難訓練
教育相談週間 中体連
交通安全教室 生徒総会
日曜授業参観 PTA 総会

11月 中学校総合文化祭
期末テスト
読書月間 OP 集会
Jrバンド引継ぎ式
音読集会

6月 中体連夏季総体
表彰集会・ボールびらき
集合学習(小) 稲刈り
期末テスト 平和集会
精米作業・音読集会

12月 地区音楽発表会
中体連新人総体
生徒会引継ぎ式
三者面談・ハイキング 給食
2学期終業式

7月 租税教室・中体連水泳
薬物乱用防止教室
お米販売・三者面談
こども会結成集会
1学期終業式

1月 3学期始業式
身体測定・書初め大会
総合テスト(中3)
もちつき大会

8月 満慶まつり
2学期始業式
身体測定

2月 学びの成果発表会
新入生保護者説明会
児童会選挙・畦払い
学年末テスト・田植え
修学旅行(中)

9月 職場体験(中3)
集合学習(中)
部活動対抗駅伝
校内童話お話大会

3月 県立高校入試
卒業式
中学校新入生体験授業
修了式 離任式



愛言葉

笑顔でチャレンジ!

一生懸命がかっこイ!!

~自分で自分をほめよう~

令和5年度児童生徒の主な活躍状況

- ・第74回沖縄県小中学校童話お話意見発表大会 童話の部 最優秀賞
- ・第62回八重山中学校新人総合体育大会 団体優勝 男子ソフトテニス部
- ・第45回八重山中学校陸上競技大会 1年女子 800M 第2位 2年女子 800M 優勝
- ・版画コンクール 特選 小3
- ・第29回やまねこマラソン 中学の部 男子優勝 女子優勝

令和6年度学校経営構想

学校教育目標



未来を拓く心豊かで自立した児童生徒の育成

具体目標

知

自ら学ぶ子

徳

思いやりのある子

体

たくましい子

校訓

豊かな心

実践目標

知	① 自ら必要な知識・技能を身に付け、学び考え判断し、課題を解決することができる。
	② 将来の夢を持ち、目標に向かって計画を立て、学習をすることができる。
	③ 他者と交流(学び合い)し、自分の考えをしっかりと持ち表現することができる。
	④ 正しい判断ができ、けじめある生活ができる。
	⑤ 学習で得たことを工夫して表現することができる。
徳	① 進んで挨拶し返事や場に応じた言葉遣いができる。
	② 相手の気持ちを考え、助け励まし合う事ができる。
	③ 進んで協力し、活動することができる。
	④ 喜んで働き、進んで奉仕活動ができる。
	⑤ 粘り強く最後までやり遂げることができる。
	⑥ 物や時間を大切にし、けじめをつけ規則正しい生活ができる。
	⑦ ふるさとの自然や文化・伝統を大切にすることができる。
体	① 早寝・早起き・食事などの生活のリズムを整え健康に生活することができる。
	② 命の大切さを理解し、安全に気をつけることができる。
	③ 進んで体をきたえ、丈夫な体をつくることことができる。
	④ 「食」に興味・関心を持ち、よりよい食生活を実践することができる。

川平校の子供たちを9カ年かけて育てていきます



本校がめざす教育像



めざす子ども像

- 自ら学び行動する子
- 進んで挨拶し、心豊かで健やかに生きる子
- けじめをつけ、粘り強い子
- ふるさとに誇りが持てる子



めざす教師像

- 広い識見と教養を備えた教師
- 使命感に燃え教育愛に満ちた教師
- 健康で明るく協調性に富む教師
- 進んで地域と関わる教師



めざす学校像

- 自ら学ぶ力を育む学校
- 思いやりの心を育む学校
- 健康な体を育む学校
- 地域と歩む学校



経営方針

1. 全職員は「チーム川平」の一員としての自覚と誇りを持ち、団結し、**組織的**に教育活動全体に取り組む。
2. マネジメントサイクル (PDCA) を機能させながら、常に**情報共有**に努め、**共通理解・共通実践**を図り、**協働体制**を確立させる。
3. 「**学校教育における指導の努力点**」「**沖縄県学力向上推進5カ年プラン・プロジェクトII**」「**問いが生まれるサポートガイド**」「**石垣市スタンダード**」「**勇気づけの教育**」を活用し、学びの質を高める**授業改善**及び**学校改善**を推進しながら学力向上を図っていく。
4. 児童生徒の個性を尊重した**児童生徒理解**に努め、**知徳体にわたる「生きる力」**の育成と**「自己肯定感」**の高まりを図る。
5. 児童生徒個々の**基本的な生活・学習習慣**の確立を図り、**支持的風土のある学校づくり**に努める。
6. 適切な安全教育と安全管理の充実を図り、**安心安全な学校づくり**を推進する。
7. 全教職員は、常に専門職としての自覚と誇りを持ち、**主体的・対話的で深い学び**を中核とした**「授業改善」**のため、日々の授業や校内研修の充実に努める。
8. **小中併置と地域の特性**を活かし、**地域のよさや伝統**を大切にする学習活動の工夫に努める。
9. 保護者や地域、関係機関との連携を密にし、**地域と歩む開かれた学校づくり**に努める。
10. 職員の**サービス規律遵守**を徹底する取り組みを行う。
11. **毎週水曜日は、定時退勤日**と設定し、教職員の生涯学習の意欲を育むことや家庭を顧みる等、一人一人の意識を改革し**働き方改革**に努める。



目的

教職員一人一人が、良好な人間関係を築き、心身ともに健康で本来の職務に専念し、児童生徒と共に学び、成長しながら、専門性を十分に発揮して、「子供たちへのより良い教育」を行っていくことができる教育環境を整える。▶ **児童生徒と教職員のウェルビーイングの向上**

POLICY

①良好な人間関係の構築	②心身の健康	③本来の職務への専念
④児童生徒と共にした学びと成長		⑤専門性の発揮

目標 目的実現のための「3軸・6視点」の実感の向上

教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できる環境整備

3軸	働きやすさ	働きがい	心身の健康
	同僚・管理職との良好な人間関係の構築	児童生徒・保護者との信頼関係の構築	心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成
6視点	個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保	資質能力の向上や専門性の発揮	長時間勤務の改善

働き方改革とメンタルヘルス対策の一体的な取組

沖縄県働き方改革推進計画

「みんなの学校!ピースフル・プラン」リ・アップデート版

これから3年間!
新しいプランで進めよう!!

学校における働き方改革

「学校における働き方改革」の目指すべき方向性
本計画に示す方向性を実現し、児童生徒の学習意欲の向上や教職員の働きやすさの向上を図ることを目指す。また、児童生徒の学習意欲の向上や教職員の働きやすさの向上を図ることを目指す。また、児童生徒の学習意欲の向上や教職員の働きやすさの向上を図ることを目指す。

令和6(2024)年3月
沖縄県教育委員会

本年度の重点目標及び具体的取組

I 学習指導の工夫・改善・充実

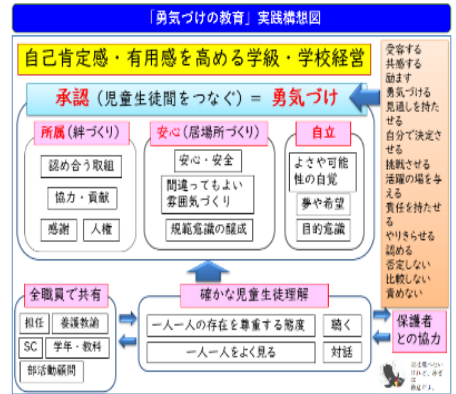
沖縄県学力向上5カ年
プラン・プロジェクトII
→R6は総括期です



「学力向上推進5カ年プラン・プロジェクトII」「勇気づけの教育」に沿った授業改善（「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導体制・方法の確立）

- ① 全国学力学習状況調査や県到達度調査・学力向上 Web 調査等を活用し、児童生徒個々の実態を把握し、課題解決に努める。
- ② 個に応じた指導を充実させ、「めあて」「学び合い」「まとめ」「振り返り」を行う完結型授業実践に努める。
- ③ 小中併置校の特性を生かし、連携して各教科で「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた授業改善に努める。

石垣市「勇気づけの教育」（市教委 HP 掲載）
子供たちが安心して学び自分のよさや可能性を広げる
学校づくりを目指しましょう。



「主体的・対話的で深い学び」～学習者の視点と授業者の視点～ 国立教育政策研究所

	授業改善に向けた『学習者』の視点	授業改善に向けた『授業者』の視点
主体的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 学ぶことに興味や関心を持つ ● 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける ● 見通しをもつ ● 粘り強く取り組む ● 自己の学習活動を振り返って次につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 既習事項を振り返る ● 具体物を提示して引きつける ● 子供が明らかにしたくなる学習課題を設定する ● 子供が自らめあてをつかむようにする ● 学習課題を解決する方向性について見通しを持たせる ● 子供が自分の考えを持つようにする ● 子供の思考を見守る ● 子供の思考に即して授業展開を考える ● 子供の考えを生かしてまとめる ● その日の学びを振り返る ● 新たな学びに目を向けさせる
対話的な学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供同士の協働を通じ、自己の考えを広げ深める ● 教職員との対話を通じ、自己の考えを広げ深める ● 地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深める ● 先哲の考え方を手掛かりに考える 	<ul style="list-style-type: none"> ● 思考を交流させる ● 交流を通じて思考を広げる ● 協働して問題解決する ● 板書や発問で教師が子供の学びを引き出す
深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ● 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる ● 知識を相互に関連付けてより深く理解する ● 情報を精査して考えを形成する ● 問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資質・能力を焦点化する（つきたい力を明確にする） ● 単元や各授業の目標を把握する ● ねらいを達成した子供の姿を具体化する ● 教材の価値を把握する ● 単元及び各時間の計画を立てる ● 目標の達成状況を評価する

- ④ 学年相応の知識・技能を確実に身につけさせ、その活用をととして、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ⑤ 学習規律を身につけさせ、保護者と連携し家庭学習の確実な定着を図る。
- ⑥ ICT を効果的に活用し、「授業改善」に努める。
- ⑦ 指導と評価の一体化を図る。
- ⑧ 学校司書と連携し、「読書センター」「学習・情報センター」としての機能及び「心の居場所」となるよう充実を図る。
- ⑨ 管理職による授業観察と効果的なフィードバックを行う。



家庭学習を「自分で内容を決め、考え計画して学習」するものに
～沖縄県教育庁義務教育課発行「自学自習ガイド」参考～

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
(国立教育政策研究所)

2

道徳教育の充実

(自他の生命を尊重する心を基盤に「豊かな心」を育む)

- ① 学校教育活動全体を通じて、**道徳教育の充実**を図る。
- ② 校内研修を中心に授業研究に全職員で取り組み、組織的授業改善を推進し指導力の向上に努める。
- ③ 道徳教育推進教師を中心として、地域人材の積極的活用を図り人と関わる体験活動を充実させる。
- ④ 道徳科を充実させるとともに、**人権教育を推進**する。

沖縄県教育委員会 HP に掲載→
道徳教育パンフレット



3

健やかな心と体を育む教育の推進

(心と体を一体として捉えた、健康の保持増進と体力の向上)

- ① 日常的な遊びや運動、クラブ・部活動等を通じた体力づくりの充実を図る。
- ② **西部地区**の学校と連携し、**集合学習**を計画・推進する。
- ③ 部活動加入を奨励する。
- ④ 地域人材や部活動指導員の活用を通して、スポーツ活動や部活動の活性化を図りながら、**毎週水曜日に休養日**を設定し活動時間の適正化を図る
- ⑤ 部活動主顧問の負担を軽減するため、全員部顧問制をとり、副顧問も積極的に部活動に関われる体制づくりを行う。



4

生徒指導の充実

いじめの定義・認知について確認しておきましょう。

(信頼関係を基盤とした生徒指導の充実)

- ① 児童生徒と教師の**信頼関係**及び児童生徒相互の**好ましい人間関係**を育成する。
- ② **カウンセリングマインド**を中核にした教育相談・生徒指導体制の充実。
- ③ 定期的(毎週1回)に生徒指導部会(いじめ防止対策委員会を兼ねる)を開催し、**個々の児童生徒理解に基づく支援**に努める。
- ④ 児童生徒の基本的な生活習慣の形成や**規範意識の醸成**を図る。
- ⑤ 生活目標や川平っ子のやくそく・生徒心得の指導を徹底する。
- ⑥ 保護者・地域・関係機関と情報共有し、行動連携を図る。

生徒指導提
要を熟読し
ましょう。



5

キャリア教育の充実

(社会的・職業的自立に向けた資質・能力を育む取り組みの推進)

- ① 教育活動全体を通して発達段階に応じたキャリア教育を推進し、計画的、継続的な学習指導の工夫を図る。
- ② 自他への関心を高め、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択する力を育成する。
- ③ 夢や希望を育み、他者とのコミュニケーションや人間関係の大切さを理解させるため職場見学、職場体験、高校体験入学等の充実を図る。
- ④ 日常の学習活動と社会を関連づけた活動を推進する為、保護者・地域・関係機関との連携を深める。
- ⑤ 児童生徒1人1人が、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりできるように、学びのプロセスを記述し、自己評価を行う「キャリア・パスポート」を活用し、小中高学びの履歴を繋ぐ。



沖縄県教育委員会 HP にキャリア教育に関する情報がのっています。県内学校の実践事例も掲載されています。
↓キャリア教育4つの能力も確認しておきましょう。

「人間関係・社会形成能力」 「自己理解・自己管理能力」 「課題対応能力」 「キャリアプランニング能力」

かかわる力
(人間関係形成・社会形成能力)

ふり返る力
(自己理解・自己管理能力)

やりぬく力
(課題対応能力)

みとおす力
(キャリアプランニング能力)

か



ふ



や



み



6 特別活動の充実

- (自ら学び考え、自らを律しつつ他者と協調できる豊かな人間性)
- ① **支持的風土**をつくる**学級経営**と児童会・生徒会活動の充実を図り、規範意識や豊かな人間性の育成を図る。
 - ② **自治意識**を高める**児童会・生徒会活動**を推進し、自主的・主体的な態度の育成を図る。
 - ③ **小中連携**による各種委員会活動の内容を工夫改善し活性化を図る。

沖縄県学力向上推進本部からの提言

提言1 「魅力ある学校づくり」の推進 [対策1・2・3・4]

～安全・安心が確保され、多様な児童生徒が「学校づくり」に主体的に関わる学校文化の形成～

- 支持的風土（互いに認め合い、支え合う集団）づくりの4つのポイントを踏まえた教育活動の推進 ①安心 ②所属 ③承認 ④自立
- 生徒指導の4つのポイントを生かした授業づくり
- ①自己存在感の感受 ②共感的な人間関係の育成
- ③自己決定の場の提供 ④安全・安心な風土の醸成
- 学級活動と連動した児童会・生徒会活動の充実及び「自治意識」の醸成

コロナ禍を乗り越え、「魅力ある学校づくり」を推進するため、学校・学級における支持的風土（互いに認め合い、支えあう集団）の醸成や、自己決定の要素が含まれた授業や教育活動等の展開を推進しましょう。

7 特別支援教育の充実

- (個々の教育的ニーズの把握と全校体制による教育的支援)
- ① 特別支援教育における校内支援体制の充実を図る。
 - ② 特別支援教育コーディネーターを中心に、定期的に校内特別支援会議を開催し、担任や各学部と連携しながら児童生徒支援を充実する。
 - ③ 関係機関等と連携し、校内教育支援委員会（校内特別支援会議と兼ねる）の機能化を図る。
 - ④ 保護者と連携し、個別の「教育支援計画」及び「指導計画」の作成を行い、通級指導や交流学習の推進、評価の工夫・改善を行う。



8 食育の充実

- (基本的生活習慣の確立と健全な食生活を実践することのできる能力の育成)
- ① 学校栄養職員を中心とした**食育の推進**に努め、家庭と連携した「お弁当の日」を充実する。
 - ② **学校栄養職員**と担任が連携した **TT 授業**等で**食育指導の充実**を図る。
 - ③ **給食時間**等を活用した**食育指導**を行い、**季節・地域行事**等の**食文化**への理解を深める。



学校栄養職員の先生が学校にいるのは川平校の強み!!

食に関する指導の手引き
(文部科学省)

9 学校安全・防災教育の推進

- (児童生徒の危機回避能力の育成)
- ① 養護教諭と連携し、保健安全指導に努め、**安心安全な学校づくり**を推進する。
 - ② 定期的(毎月1回)な**安全点検**を行い、安全教育の徹底を図る。
 - ③ 交通安全指導や防災避難・不審者対策訓練、薬物乱用防止教育等の充実を図り、**危険回避能力**を高める。



10 平和教育・人権教育の充実

- (人権・生命尊重を基盤に、世界平和を希求する心を育む)
- ① 教育活動全体を通して、児童生徒の実態に応じて組織的・計画的に推進する。
 - ② **平和月間**を設定し、6.23「慰霊の日」に関連した特設授業等を実施する。
 - ③ **人権デー**を設定し、週報に記載し人権講話の内容の充実を図る。



11

国際理解教育・外国語教育の推進

(国際社会に対応できるコミュニケーションを図る資質・能力の育成)

- ① 国際理解教育を推進し、異文化理解を図る。
- ② 授業等でALTや地域人材を積極的に活用する。
- ③ 小学校では、中学年で外国語活動、高学年で外国語科を導入し、英語に慣れ親しませ、コミュニケーションの楽しさを実感させる。
- ④ 中学校では、英語教育を推進し、コミュニケーション能力の育成を図る。



12

情報教育の充実

(情報活用能力の育成と情報モラル指導の充実、ICTの活用による「個別最適な学び」の推進)

- ① ICTの整備及び充実を図り、授業等で積極的に取り入れ活用する。
- ② 情報モラルの指導及び個人情報の保護に努める。
- ③ プログラミング教育を充実した授業実践に努める。



石垣市 GIGA スクール構想
『I-プラン』

- ・石垣市の「I」・ICTの「I」・わたしの「I」
- ・出会い ・学び合い ・つながり合い

令和6年3月改訂
石垣市教育委員会

I-プランの目指す児童生徒の姿

受動的な学び

勉強は学校でやるもの、授業は先生が教えてくれる、知らなくてもいいから大丈夫、やらせてないからできない

これからの教育

主体的な学び

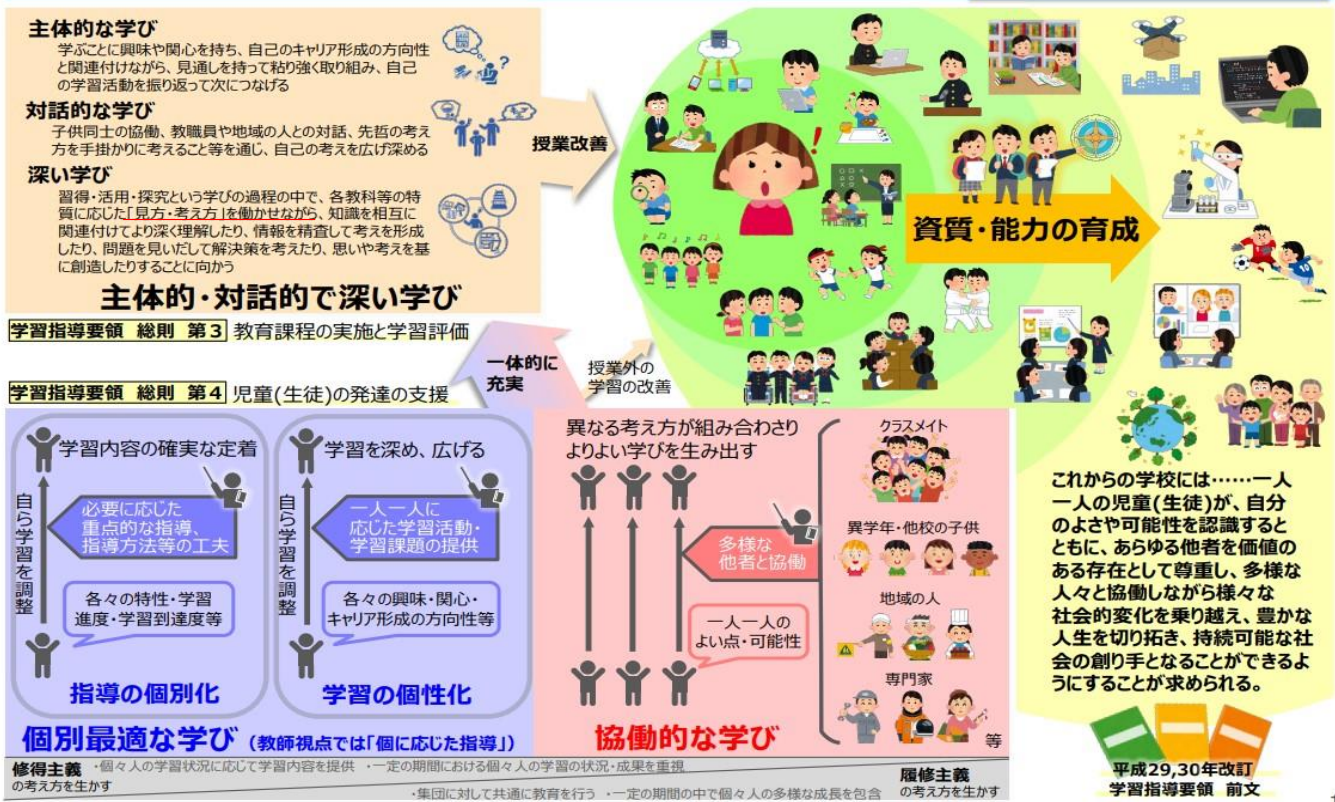
自分で考えるには何ができるのだろう、自分で調べてみようやってみよう、パソコンってなんで動くのだろう

学習に対して、受け身であり、できないことをできないままにする態度に意欲を見せず、やる気がない

身近な疑問・社会問題を情報活用能力を使い解決する解決の過程の中で知識・技能の取得、探求の発見教材の移りを超えた「STEAM」教育

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 (イメージ)

教育課程部会における審議のまとめ (令和3年1月25日) (参考資料)



Global and Innovation Gateway for All

GIGA
スクール

全員がグローバル (国際舞台) と
イノベーション (革新的創造) の
扉をあけることのできる学校にしていこう!

13 環境教育の充実



(SDGsを意識し、よりよい環境づくりに主体的に行動できる資質・能力の育成)

- ① 朝のクリーンタイム(ボランティア活動)を推進し、美化活動を充実する。
- ② 校内緑化計画の推進及び年間を通しての花いっぱい運動を展開する。
- ③ 公共物の愛護及び**三**ない運動(ちらかさない・汚さない・こわさない)を推進する。
- ④ 持続可能な社会をつくる(ESD)取組として、リサイクル(裏紙の利用・ゴミ分別)や節電、節水等を意識的に推進する。
- ⑤ 定期的な環境整備に努める。



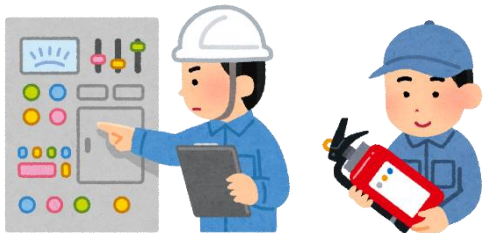
石垣島のごみのポイ捨て問題ラジオ CM R5 川平中中学生作成

川平中学校は、令和6年度ライオン美らaction 実施校に選ばれました。昨年度に引き続き環境学習を進めていきます。



14 施設設備の整備と充実

定期的な施設設備点検を行い、**施設設備の補修・整備・充実**に努める。



毎月1回安全点検を実施
 修繕箇所については
 ○校内でできるもの→校内担当・PTA 事業部
 ○業者へ依頼するもの→委員会へ要請

15 総合的な学習の時間の充実

- ① 年間指導計画に基づく学習指導の充実を図る。
- ② 指導内容の工夫及び**地域教育資源(ひと・もの・こと)**の活用^①に努める。
- ③ **地域の特性**を活かした**体験的な学習**を推進する。



4 総合的な学習の時間の充実 (小・中)

—各学校において定める目標及び内容や探究的な学習の指導のポイント—

総合的な学習の時間は、学校が地域や学校、児童生徒の実態に応じて、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習とすると同時に、探究的な学習や協働的な学習とすることが重要である。

そのため、各学校において目標及び内容を設定し、「探究的な見方・考え方」を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する必要がある。

ここがポイント(取組の重点)

○学校の特色に応じた取組が増えた→●各学校における目標等や学習過程の充実課題。
 ◇各学校において定める目標及び内容の見直しや探究プロセスを意識した指導を行う。

(1) 各学校において定める目標及び内容の見直し

- ① 各学校が総合的な学習の時間の目標を設定するに当たっては、教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの軸となるよう、第1の目標の趣旨と各学校における教育目標を踏まえて設定し、育成することを目指す資質・能力の三つの柱ごとに設定すること。
- ② 「目標を実現するにふさわしい探究課題」「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」を設定すること。(※探究課題…従来の学習対象として説明されてきたものに相当する)
- ③ 他教科で育成する資質・能力を相互に関連付け、日常生活や社会との関わりを重視すること。
- ④ 教科等を超えた全ての学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力などの資質・能力の育成に配慮すること。
- ⑤ 体験活動、地域の教材や学習環境を積極的に取り入れること等は引き続き重視すること。

16 職員研修の推進

(情報収集及び共有による資質の向上)

- ① 小中連携した校内研修・学力向上の推進の充実に努める。
- ② 初任者研修や経験者研修の充実を図る。
- ③ 全教職員が相互に学び合う OJT を推進し、専門職としての意識と資質の向上を図る。



1人1回研究授業の実施：互見授業を通してOJTや組織的な授業力の向上を図ります。

- 校内研修代表者研究授業：小学部【本原 9/25】 中学部【古堅 11/27】 ※指導主事招聘
- 互見授業：宮里 5/15・井上 5/29・松田 6/12・永井 6月・宜志富 9/3・長谷美 9/11/・下野 10月・東成底 12月・宮里梨 7月・手登根 5月・南 5/23・パドロン 10月・金城 6/14・池間 1月
- 経年研究授業
 - ・初任研：6/11・9/3, 20・10/18・11/12・5年研：9/25・11/21・中堅研：5/15・9/13・11/13



- ・他教科交流の他、他校種間交流が図られるのは小中併置校の強みです。
- ・今年の校内研テーマは「教職員の ICT スキル向上」です。講師を招聘して校内研修の充実を図ります。【講師：教育委員会 ICT 支援員・情報教育担当主事等】

17 信頼される学校づくり推進

(保護者・地域との連携)

- ① 学校経営方針に基づき教師の専門性を活かした組織的・継続的な教育活動を展開する。
- ② 学校 HP の更新と充実により「開かれた学校づくり」を推進する。
- ③ 学校だより「かびら」、学校メール、PTA 新聞「まんやま」、その他、学級・保健・図書館・給食だより等を活用し、保護者や地域へ情報を発信する。
- ④ 学校評価を年2回実施し、結果を公表する。
- ⑤ 学校行事等へ保護者・地域の参加を促す。
- ⑥ PTA 活動及び研修会等への参加を促す。
- ⑦ 学校評議員会を定期的(年2回程度)開催する。
- ⑧ 地域行事(豊年祭・結願祭等)への参加・協力を積極的に行う。
- ⑨ 定期的に授業参観日を設ける。

川平校 HP で
日々の様子を
掲載中♪



保護者・地域にとって「魅力ある学校」とは？

毎日通わせたくなる学校

- 子供たちに活躍の場がある
- 信頼され、地域とともにある
- 保護者・地域が気軽に足を運べる



信頼される学校 魅力ある学校
全ての幼児・児童・生徒、誰にも居場所
があり所属、安心して過ごすことができ、
他者からの承認のもと、夢を描きながら学
び、自立に向けて成長できる学校

18 服務規律遵守の徹底

(同僚性と日常の取組を活かした不祥事防止対策)

- ① 管理職は、日々の校務を観察しながら、服務規律遵守の徹底を図る。
- ② コンプライアンスリーダーに小中教務主任を指名し、同僚性を活かした服務規律の遵守の徹底を図る。
- ③ 全職員に服務規律遵守等の資料を適宜配布し、教育公務員としての職責及び信頼失墜行為等の確認を行い、服務規律遵守の徹底に取り組む。



沖縄県教育委員会

体罰はしない・見逃さない・認めない

飲んだら乗るな 乗るなら飲むな

急ぎと焦りが事故のもと 常にゆとりと思いやり